JAPAN EAST REGION
ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区
The International Association of Y's Men's Clubs

Change! 2022 ニュース

No. 42（最終号）

Change! 2022 推進委員会　2022. 12. 15 発行

▼ 会員増強に思う

『 Change! 2022 の歩み（総括） 』

Change! 2022 推進委員会委員長
栗本 治郎（熱海）

2018 年度の第2回東日本区役員会で、『2022 年をゴールとする中期会員増強運動を展開すること』が承認されました。内容は、東日本区がスタートした 1997 年の会員数 1,246 名を目標に会員増強を推進することです。東日本区 EMC 事業委員会の下で、「仮称・会員増強推進委員会」が組織され、2018 年度第3回区役員会で、東日本区ワイズ基金より 500 万円を限度として支出する予算の承認を頂きました。EMC アンケートの結果を検討し、アクションプランの作成に取り掛かり、2019 年 7 月より『Change! 2022』が正式にスタートしました。

然しながら、2020 年当初よりコロナ禍の影響で例会の中止やクラブ活動の中断を余儀なくされ、Change! 2022 の思いをクラブ・会員に十分浸透させることが出来ませんでした。

▼ 仮称・会員増強推進委員会（2018.11～2019.6）

◆事業計画の概要・予算

◆EMC アンケート実施（クラブ・個人）

東京町田スマイリングクラブ・チャーター（2019 年 2 月 24 日）

横浜つるみクラブ・チャーター（2019 年 6 月 16 日）

Change! 2022 スタート

▼ 1年目（2019. 7～2020. 6）

◆Change! 2022 ニュース発行（1 号～12 号）

◆Change! 2022 推進委員会規則および施行細則制定・施行（第2回役員会承認）

◆クラブ別 2022 年末目標会員数の作成

◆Change! 2022 シンポジウム開催（2020.2.1）、報告集の作成（会員全員に配付）

◆アクションプランの主な提唱

1. 地域に根ざしたワイズ独自の魅力ある CS 活動。地域イベントへの参加や他団体との協力。非会員を巻き込んだ事業展開。YMCA との共同事業。→地域での知名度の向上。
2. Facebook などの SNS を活用しての外向きの情報発信。→ワイズの知名度の向上。
3. 5名以上の新クラブの奨励
   奉仕・社交・研鑽・居場所・ステータスを満たせるクラブ。若い人を引き付けるプログラム。
4. アクションプランの浸透および EMC シンポジウムの開催。
5. Change! 2022 ニュースの発行（毎月 15 日）

▼ 2年目（2020. 7～2021. 6）

千葉ウエストクラブ・チャーター（2020 年 10 月 3 日）

◆Change! 2022 ニュース発行（13 号～24 号）

◆Change! 2022 推進委員会規則施行細則の改訂（第2回役員会承認）

助成金制度：スポンサークラブおよび新クラブへ各5万円

◆アクションプラン II の主な提唱

1. コロナ禍における会員増強と新クラブ設立について
   ① アニバーサリープレゼントの推進
   周年例会を迎えるクラブへの会員候補者の紹介。（把握は難しいが、あまり効果がなかった）
   ② YMCA リーダーOB/OG が卒業後も YMCA、ワイズとの繋がりが続くような関係作り。
   ③ コロナ禍における『新しいワイズ様式』の模索、クラブ例会等についてライブとリモートのハイブリッド型を基本とする例会。
   （リモートが出来ず例会を中止しているクラブも多くありました。）
   部 Zoom エクステンション委員会開催の推奨。
   ④ 全クラブの例会実施状況の一覧表作成
2. Facebook の活用の推進
   約 30 クラブが FB を立ち上げましたが、数クラブを除いてうまく活用できていません。

3. 法人化について
知名度、社会的信用度の向上のため、法人化を進める。(2021 年度より一般社団法人になる。)
行政からの補助金・助成金のメリット。(今後活用が検討される。)

◆拡大 EMC 委員会を隔月開催

▼ 3年目 (2021. 7～2022. 6)

◆Change! 2022 ニュース発行(25 号～36 号)

◆スマホ専用サイト『動画で分かるワイズメンズクラブ』カードの作成

カードの QR コードを開き、数分でワイズのことを分かりやすく紹介するサイトで、各クラブの Facebook にアクセスすることもでき、入会の問い合わせもできます。
各クラブにカードを 100 部配布。
現状、QRコードによる問い合わせは殆ど有りませんが、今後の有効活用が望まれます。

◆ワイズ・ナイトフォーラムの Zoom 開催(6 回開催)

コロナ禍の中、リモートによるフォーラムを開くことにより、新しい交流のきっかけになればと考え、企画いたしました。
身近でタイムリーな魅力ある卓話および各部・各クラブの CS 奉仕活動のパネル・ディスカッション。パネル・ディスカッションは、会員増強だけでなく、他クラブの活動内容を知ることができ、各クラブの活動の参考にもなります。50 名～80 名の参加がありました。しかし、ワイズ以外の一般参加者の参加が少ないのが残念でした。

第1回　2021 年 9 月 19 日(日)20:00～
卓話：藤田智『趣味の園芸…』
パネル・ディスカッション：東京ベイサイドクラブ『カンボジアに園児服を送る活動・・・』

第2回　2021 年 10 月 24 日(日)20:00～
卓話：利根川恵子『TOKYO 2020 オリンピックにボランティアとして参加して』
パネル・ディスカッション：北海道部『チミケップキャンプ場の活動…』

第3回　2021 年 11 月 21 日(日)20:00～
卓話：西村隆夫『国際書記長としてタイでの活動とオリンピックボランティアの経験…』
パネル・ディスカッション：富士山部『青少年事業活動の魅力…』

第4回　2022 年 2 月 26 日(土)20:00～
卓話：山田公平『Y's×SDGs Youth Action 2022 について…』
パネル・ディスカッション：あずさ部『あずさ部の CS 活動…』

第5回　2022 年 4 月 16 日(土)20:00～
卓話：江夏一彰『コロナ禍でも活きる…』
パネル・ディスカッション：北東部「地域奉仕活動/東日本大震災からの復興…」

第6回　2022 年 6 月 25 日(土)20:00～
卓話：SalamatA & Philippines『ともに希望の絵本、海をこえて届ける…』
パネル・ディスカッション：東京多摩みなみクラブ『オンライン・プランター講座について～コロナ禍で生まれた地域奉仕事業』

◆拡大 EMC 委員会を毎月開催

▼ 4年目 (2022.7～2022.12)

甲府やまなみクラブ・チャーター(2022 年 9 月 3 日)

◆Change! 2022 ニュース発行(37 号～42 号)

◆『動画で分かるワイズメンズクラブ』の修正
各クラブにカードを 100 部追加配布。

◆YMCA 機関誌にワイズ情報を掲載する企画
各地の YMCA 機関誌にワイズの情報を掲載していただき、ワイズの活動をより知っていただき、中長期的に会員増強の芽を育てていきたい。
各クラブの情報および国際・区の情報を掲載していただく。(毎号掲載)
YMCA ごとにワイズの掲載担当者を決め、YMCA 広報担当者との連絡役を担っていただく。
国際・区の情報は、東日本区広報・伝達専任委員が担当する。

◆ワイズポスターの作成
ワイズ紹介ポスターを作成し、各 YMCA 施設に掲示していただき、YMCA リーダーおよび関係者にワイズのことをより身近に感じていただき、ワイズ YMCA のパートナーシップをより強くしていきたい。
ポスターには、東日本区 HP、動画で分かるワイズメ

ンズクラブ、および問い合わせの QR コードが掲載されています。
A2 サイズのポスターを 200 部作成。各 YMCA に配布。各クラブにも1枚配布。

▼ 4年間の会員数の推移

- 2019 年 7 月 1 日 849 名（東京山手クラブ解散 2020.6）
- 2020 年 7 月 1 日 830 名（千葉ウエストクラブ・チャーター 2020.10、沖縄那覇クラブ解散 2021.6、沖縄クラブ解散 2021.6）
- 2021 年 7 月 1 日 800 名（会津クラブ解散 2022.1）
- 2022 年 7 月 1 日 770 名（甲府やまなみクラブ・チャーター 2022.9）

Change! 2022 推進委員会では、コロナの影響で 2020 年 3 月からは毎月 Zoom によるリモートで開催し、様々な活動をしてまいりましたが、残念ながら会員の減少を止めることはできませんでした。しかし、Change! 2022 の活動によるアクションプランや会員増強ツールは、多くのワイズメンに浸透していくことで生かされてくることと期待しています。東日本区 HP の Change! 2022 の覧に、アクションプラン、Change! 2022 ニュース等の資料が掲載されていますので、是非ご活用をお願い致します。

- 会員増強は永遠の課題
- エクステンション助成金の継続
- SNS の有効活用
- ワイズ紹介カードの活用
- YMCA との連携強化
  YMCA 機関誌へのワイズ記事掲載、ワイズポスターの活用

以下、推進委員会各委員による「委員の一言」を掲載し、Change! 2022 プロジェクトの総括とさせていただきます。

≪ 栗本 治郎さんのプロフィール ≫

1950年5月6日	熱海生まれ
1979年10月	熱海クラブ入会
1995－1996年度	クラブ会長
2006－2007年度	東日本区会員増強事業主任
2017－2018年度	東日本区理事
2019－2022年度	Change! 2022 推進委員長
2021－2022年度	静岡YMCA理事

職業は不動産管理業経営

▼「Change! 2022 推進委員会」終了に際して

東日本区理事
佐藤 重良（甲府21）

会員増強推進委員会として、2019 年 7 月よりスタートした「Change! 2022 推進委員会」の活動は画期的なものであったと思います。栗本治郎委員長のリーダーシップの下、現状把握のため事前にアンケートを実施し、それを基にアクションプランを作成し、活動を推進してきました。委員会のメンバーの会議への出席率もよく、各種の議論を重ねてきました。コロナ禍の中で対面での活動が難しくなったので、新しい手法（Zoom・FB・QR コード等）を駆使して進めてきたことは、大きな成果であります。

活動の中で特に称賛しなければならないことは、毎月発行された「Change! 2022 ニュース」です。伊丹一之発行責任者の熱心なご努力により、最終号（42 号）まで一度も休まず発行されたことに対し、感謝と御礼を申し上げます。そのおかげで「Change! 2022 ニュース」には、今後も活用できる、会員増強に関する貴重なデータや資料が蓄積されました。

会員増強の当初の目標の達成はできなかったものの、3年半の功績は歴史に刻まれる素晴らしい委員会活動でした。栗本治郎委員長・委員会メンバーの皆様の長い間の活動に、心から感謝申し上げます

▼ Change! 2022 推進委員会 委員の一言

ワイズの喫緊の課題を気づかせてくれた委員会の役割に思う

石田 孝次（東京多摩みなみ）

何かの会合で、新米ワイズが世間知らずに言いたいことを言っていたら、Change! 2022 の主要メンバーになる諸先輩から委員会メンバー（会計担当）にと拿捕され、わけもわからずに首を突っ込み、気がつけば抜けられなくなっていた。（笑）

栗本委員長のリーダーシップの下で歴代の区の EMC 委員長も加わり、会員増強に向けプロボノの力を

借りてあれこれ知恵を絞り斬新な改革を試みたものの、現状を激変させるほどの特効薬にはならなかった。ナイトフォーラムの中でワイズの活動の一端を示しながら外向けに「楽しさ」を共有できないか。そのことを通じてワイズに関心を持っていただけないかと期待したが、動かなかった。増やす努力は不可欠だが、減らさない努力の必要性を痛感した。

区や部や自クラブの役員就任に伴う負担を、如何に軽減させるかの新たな仕組み作りが大事だ。例えば、経験不足や仕事を抱えた人の「負担軽減」のためのサポート体制作りです。ベテランや「経験値」のある人が、「スタッフ」的な働きで代表を支える強固な協力関係の確立です。これなくしてワイズの「機能維持」は図れないと感じることが多くなっている。大事なことは、「負担を分かち合う」土壌作り、コンセンサスの形成だと思う。クラブ単位の組織統合の考え方や役員の兼務・続投の考え方も根っこは一緒だと思っている。

EMC の熱波師に！

相磯 優子（沼津）

1,246 名という数値目標を目指しスタートした委員会です。目標達成とはいかないまでも、EMC へ熱い気持ちを送り込む熱波師とはなれなかったことが残念です。

対面での活動が増え、人と会う機会を持てるこれからにこそ、当委員会で作成したワイズ動画で、「ワイズって何？」の問いかけに多いに活用していきたいです。

ニュースの発行に意義を見出した3年間

伊丹 一之（東京むかで）

会員増強事業主任だった 2018-2019 年度に『2022 年をゴールとする中期会員増強運動を展開すること』を策定、次年度から『Change! 2022』が始まりました。

東京むかでクラブで培われたブリテン編集スキルを活かして『Change! 2022 ニュース』を創刊、3年半にわたり毎月 15 日に発行してきました。原稿を依頼した皆様には、快く引き受けていただき、それに〆切日も守っていただきました。ワイズの皆さんのスキルの高さに助けられた思いで一杯です。

変化（Change）の難しさ

板村 哲也（東京武蔵野多摩）

ワイズにつき、歴代のリーダー、会員が問題意識と意見を持ち、長年の間議論を続けている。しかし言っていることは同じで、何も変わらず今日に及んでいる。

ボランティア活動は、ポジティブな面のみが語られることが多いが、矛盾や限界、ネガティブな面も含んでいる。個人、組織として利己的であり（好きなこと、納得することしかしない。程度も自由。社会、自分の組織にとって必要なことであっても、いやであればやらない。強制力、生産性なし）、発展、向上に限界がある。これを少しでも克服して取り組めるかがカギではなかろうか。

達成はできずも Change! はできた！

伊藤 幾夫（東京多摩みなみ）

2020 年 2 月 1 日の「Change! 2022 シンポジウム」までは順調に進むものと思われた。そこでは、今後進める「アクションプラン（2019 年 7 月の会員数 849 名を 2022 年 12 月までに 1,246 名にする）」の具体的なプランが発表されました。発題として、①SNS の活用、②甲府21クラブ「会員倍増の実践」、③千葉ウエストクラブ設立の動向がプレゼンされました。

その後。コロナ禍に見舞われ、リアルな活動は中断を余儀なくされましたが、上記 3 点はすべて実現されました。会員増強目標の達成は今後に期待しましょう！

Change! 2022 推進委員会は先端を走ってきました！

榎本 博（伊東）

この委員会は、東日本区ワイズを真剣に考え、先端を走ってきた。先頭に立つベテラン級のメンバー、皆の意見をくみ上げ柔軟に対応し実行に移していく。実行するにしても多種多様のメンバーが揃っているから仕事も早い。会員増強を目的とする TOOL も十分揃った。

期限内に目的を果たす事は出来なかったが、3 年 6 か月の間に積み上げられた知識や資料など…。これらを活用し、またアップデートしながら、メンバーに反映させていきたい。ワイキチだらけのワイズメンズクラブを作っていきたい。

4年間の活動を振り返って

栗本 治郎（熱海）

率直に言って、私の力不足（リーダーシップ・発信力・IT スキル）のため、成果を上げることは出来なかったと感じています。

Change! 2022 の様々な提唱や会員増強ツールは、会員に届いていたのか。Change! 2022 ニュースは毎月発行していたが、読んでもらえていただろうか。高齢化したクラブが多い中、スマホやパソコンの扱いに疎い会員が多く、SNS（Facebook）を生かすことが出来なかった。

会員増強は永遠の課題。（今後に向けて）例会・奉仕活動の魅力、入会のメリットを、各種 SNS を活用して広くアピールすることが必要。今後は、IT に卓越したリーダーによる SNS の活用を期待します。京都部のクラブや甲府21クラブの成功例からの学び。（奉仕・親睦・ステータス）

Change! 2022 の3年間の思い出

大川 貴久（熱海）

栗本委員長の下で約3年間、会員増強に関して色々と勉強させていただきました。その中で一番印象に残ったのが、ナイトフォーラムです。6 回開催され、魅力ある卓話と各部・各クラブの CS 活動をパネル・ディスカッションにて活動内容を紹介する形で行われ、毎回約 80 名近い方が参加（オンライン）されました。これにより色々なクラブの CS 活動を知ることが出来、大変参考になりました。出来れば、これからも違う形で残してほしいです。

そして残念なことは、鳴り物入りで企画した FB や「動画で分かるワイズメンズクラブ」のカードが今一浸透しないことです。この委員会は 12 月で終わりますが、これからも FB と「動画で分かるワイズメンズクラブ」のカードを多いに活用して、会員増強に努めていただきたいと思います。3 年間ありがとうございました。

ＰＤＣＡ

大久保 知宏（宇都宮）

2019 年 7 月から 3 年半に渡る委員会活動は、それぞれのメンバーが多くの時間を割き、多大な献身によるものでした。その成果は、満足できるものではありませんでしたが、それぞれのクラブメンバーに会員増強への思いを引き出すことができたように思います。

2022 年 12 月に委員会は終了しますが、次年度にはこの委員会を引き継ぐ形で会員増強を目指すことが求められます。引き継ぐにあたり、改めて PDCA を回し、実行力のある施策を継続することが必要だと強く思います。

変化への対応

佐竹 誠（東京ベイサイド）

振り返ると、2019 年 12 月から続く新型コロナウイルスにより、対面での活動に制限がかかり、色々な面で変化に対応することを求められた時期でした。2021 年 7 月より Change! 2022 に参加し、非対面でも PR が出来るように、スマートフォンで手軽にワイズを理解できる PR ツールの作成をしてきました。

皆さんの努力のお陰もあり、PR サイトへの訪問者数は少しずつ増えましたが入会までには至らず、力不足を感じています。先ずは「知ってもらう」という部分を引き続き考えていく必要性を感じています。

素晴らしい軌跡に感謝！

佐藤 節子（厚木）

2022 年7月1日より東日本区会員増強事業主任を拝命させていただいたご縁で、短い期間でしたが、栗本治郎委員長はじめ Change! 2022 推進委員会の皆さまの密度の濃い活動と運営に関わらせていただき、体感することができました。感謝申し上げます。

Change! 2022 は本年で区切りのゴールといえ、新たなるスタートでもあります。会員増強 EMC は永遠のテーマであり、不滅であります。どんなスタートが始まるのか楽しみです。

お疲れさまでした。

振り返り

辻 剛（横浜つづき）

この 3 年間、1,246 名という目標は達成できなかったが、コロナ禍の中、当委員会は栗本治郎委員長のもと、オンラインリモート方式によりほぼ毎月開催。シンポジウム／ワイズ・ナイトフォーラム／アンケートの実施、FB 等 IT ツールの活用、動画で分かるワイズ紹介カード／アクションプログラムの作成、YMCA に対する会員増強協力の要請（入会者の斡旋／機関誌へのワイズアピール記事掲載／ワイズ紹介ポスターの掲示）、新クラブ支援金制度の制定、等々、会員増強に資するツールの充実化。

特筆すべきは「Change! 2022 ニュース」。伊丹一之編集長は毎月豊富な内容の記事を満載し発行。もうひとつの特記事項は山本俊一ワイズをはじめとする若い委員から多くの斬新な提案があったこと。

声かけ

藤井 寛敏（東京江東）

老齢ながら委員の一人として参加させていただきました。この委員会の仕事は、会員の皆様が周囲に容易に「声かけ」できるようなツールの作成、声かけしようと思うようになる工夫を提供することだと思っています。皆様のお力で様々なツールが出来上がった気がします。佐藤理事がおっしゃっているように会員増強の基本は「声かけ」だと思っております。声をかけられないで会員になった人は何人いるでしょうか。会員の皆様どうぞ「声かけ」をしてください。

東日本区で“何人に”声かけをしたかが会員増強のカギだと思います。

最後に、栗本治郎委員長のお働きに深甚なる感謝を捧げます。

にこにこ見守ることこそお役目です。

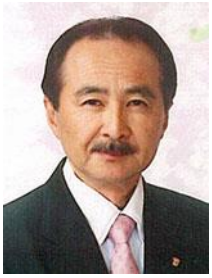
深尾 香子（東京多摩みなみ）

額に汗して奉仕活動に励んでくれる人を募るには、誰もが共感する地元の課題を取り上げて、具体的な行動を伴う事業を立ち上げれば良い。巷にあまた有る団体はそういう方法を取っており、立ち上がっては停滞し、やがては解散。また別の人が別の団体を立ち上げる。

そんな中で我々が 100 年も続いて来たのは、先達が、青年たちによる生き辛さを訴える声を丁寧に聴き、寄り添い、支え続けることを喜びとしたからだ。いま会員増強に悩むのは、この大原則を置き去りにし、自分が汗をかいているからだ。ワイズが学ぶべきは、傾聴と寛容、忍耐に尽きる。

Change! 2022 未来へ

札埜 慶一（熱海）



委員会第一期の EMC 主任を担当させていただいた熱海クラブの札埜です。あっという間の 3 年半でしたが、JEF の髙田一彦さんから ¥5,000,000 をお預かりしたが、本来の SNS 広告にはほとんど使うことができなかった。次期主任への引継ぎや SNS の説明を上手くできなかった私の責任でもあります。ネット広告は止まり予算の執行にも紐が付き動きは鈍くなりました。

栗本委員長、前大川事業主任を始めとし、全委員皆様のお力添えで精一杯努力しましたが、コロナウイルス、高齢化、老害（自分）などにより、増員目標は未達となりました。大変申し訳なく恐縮至極でありますが、次世代方々の力を借り、未来へバトンを繋いでいただければと切望します。

5年間を振り返って

宮内 友弥（東京武蔵野多摩）

2018-2019 年度区理事の任に有る時、会員減少の流れが食い止められず 900 人を割った状況を鑑み、思い切った手を打たないと悔いを残すことになる＝これがラストチャンス＝との思いを繰り返しお伝

えしていました。

この思いは私だけではなく皆さんが共通の認識として持たれたもので、それを受ける形で Change! 2022 推進委員会、法人化検討委員会が立ち上がりました。私は委員としてこの両委員会が会員増強のための言わば「車の両輪」で有ると信じて、自分なりに無い知恵を絞ってきました。本委員会でも幅広い意見交換、議論がなされ、貴重なデータ、アイディアが蓄積されました。これらの集約された資料を参考に、ワイズの一人一人が当事者意識を持って立ち向かって行けば、未来は切り拓かれていくと確信しています。

クラブライフを充実させる要素は？

山田 公平（宇都宮）

この 3 年間、ご苦労様でした。本当に多くの試みを実行されましたね。

来年度は、私にとって理事としてこの会員増強の在り方を問われています。方針としてはクラブライフの充実という言葉を使っていますが、クラブライフを充実させる要素は何でしょうか。それをクラブごとに問うことから始めることが求められていると思います。それが分かり、それを実行する方法を考えることが会員増強の条件ではないかと思います。

ワイズ運動にゴールはありません

山田 敏明（十勝）

栗本委員長、伊丹編集委員長をはじめ各委員の皆様、そして東日本区の会員の皆様に、この足掛け4年余りの活動に精力的な関わりを頂いたことに感謝申し上げます。

コロナという大きな壁が立ちはだかり、目標には惜しくも達成しませんでしたが、この運動の意義は大きかったと思います。今後は、まず自分の身近なところから、EMC に取り組みたいと思います。例えば、このワイズのすばらしさを、身内や今還暦を迎えた同級生にきちんと伝えていかなければと考えています。

私たちのワイズ活動にゴールはありません。今後も「情熱と誇り」を持ち続け、邁進しましょう。

（※この項、紙面の都合上一部を除き 50 音順に掲載。）

▼ 湘南・沖縄部の会員増強

湘南・沖縄部会員増強事業主査
佐藤 節子（厚木）

湘南・沖縄部部長主題の“楽しく・元気よく・前向きに”の方針に基づき、楽しみながら、「今だからこそ、会員増強をやるっきゃない！」と引き寄せパワーをもって、あちらこちらにアンテナを張り巡らせ意気込んでいます。

「魅力あるクラブづくり」を目指し、お仲間を増やしたい気持ちは、会員増強事業だけでなく、どこでも共通認識と思います。特に増強には受け皿が必要です。『狭いながらも楽しい我が家的ですよ。』『どうぞ、足を踏み入れてみませんか。』など大きな器の受け皿をもって迎え入れたいものです。

個性豊かな私たちです。高齢はいつか行く道、若年は通ってきた道、みんな違ってみんないい、和やかな雰囲気があれば退会者も少なくなると思います。

主査任務の繰り返しになりますが、お仲間をお誘いするには、先ずリストアップです。ストレスにならない程度に、無理なく人脈を手繰り寄せることをお願いします。

時は流れています。あと半年、前向きに。そこで、なんでいまさらとお思いでしょうが、今だからこそリストアップした A プラン・B プランを広めたく、各クラブの例会に伺わせていただきたいと思っています。自画自賛で申し訳ないですが、お仲間が増える引き寄せパワーを胸に秘め、皆様とコミュニケーションを深めたいと思っています。

「来てもいいよ」とお声かけくださいませ。可能な限りお邪魔させていただきます。

願いを込めて、「お呼び」が来ることを待っています。今だからこそ、会員増強です。

▼ 新入会員をご紹介します

会員増強事業主任　佐藤 節子（厚木）

11 月には、下記の方が入会されましたので報告します。

No.	新入会者	（クラブ名）	紹介者
1．	尾﨑 時恵	（富士五湖）	後藤 昭子
2．	大村 悠	（金沢八景）	黒川 勝
3．	倉林 康夫	（厚木）	佐藤 節子
4．	倉林 淳子	（厚木）	佐藤 節子

ワイズメンズクラブ国際協会　東日本区

2022-2023年度 12月 現勢／Change! 2022 目標会員数／修正目標に対する達成率

2022.12.1

北海道部

部　名 クラブ名	2019 7.1	2020 7.1	2021 7.1	2022 7.1	2022 12.1	2019.9 クラブ 設定目標	2020.12 クラブ 修正目標	修正目標 達成率 %
札幌	8	8	8	9	9	10	11	81.8
北見	12	11	11	10	10	15	13	76.9
十勝	17	18	18	18	18	25	20	90.0
札幌北	9	9	8	8	8	15	11	72.7
クラブ数：4	46	46	45	45	45	65	55	81.8

北 東 部

仙台	15	13	14	12	12	20	14	85.7
前橋	7	7	7	6	6	10	10	60.0
宇都宮	33	31	32	31	31	40	40	77.5
仙台青葉城	15	14	13	13	15	16	16	93.8
*足利	1	1	3	3	3	1	4	75.0
*会津（解散）	5	5	5	—	—	5	5	—
宇都宮東	8	8	7	7	7	10	10	70.0
那須	6	6	6	7	7	8	8	87.5
もりおか	13	14	14	14	14	18	19	73.7
仙台広瀬川	16	15	14	15	16	20	20	80.0
石巻広域	19	18	20	21	20	30	30	66.7
クラブ数：10	138	132	135	129	131	178	176	74.4

関東東部

東京江東	21	22	21	21	23	30	22	104.5
千葉	15	14	11	11	11	20	15	73.3
東京グリーン	17	16	16	15	14	20	18	77.8
埼玉	7	8	8	6	7	7	8	87.5
東京北	12	12	11	11	10	14	12	83.3
所沢	9	11	11	15	15	12	12	125.0
東京ひがし	11	15	13	12	12	15	20	60.0
川越	10	10	10	9	9	15	15	60.0
茨城	10	9	9	7	6	15	9	66.7
東京ベイサイド	14	15	14	13	13	18	24	54.2
千葉ウエスト	—	—	8	9	9	—	8	112.5
クラブ数：11	126	132	132	129	129	166	163	79.1

東 新 部

東京	26	27	23	25	25	30	30	83.3
東京むかで	13	11	12	9	9	20	15	60.0
東京世田谷	11	12	14	14	14	15	12	116.7
東京町田コスモス	9	8	8	9	8	12	10	80.0
東京センテニアル	8	8	8	7	7	15	15	46.7
東京多摩みなみ	14	12	10	11	12	20	12	100.0
東京町田スマイリング	11	10	9	5	7	15	15	46.7
クラブ数：7	92	88	84	80	82	127	109	75.2

*印のクラブは、担当主事がいないか、または在籍していても
複数クラブ担当のため、当該クラブの人数には含めません。

あずさ部

部　名 クラブ名	2019 7.1	2020 7.1	2021 7.1	2022 7.1	2022 12.1	2019.9 クラブ 設定目標	2020.12 クラブ 修正目標	修正目標 達成率 %
甲府	35	33	30	30	29	36	36	80.6
東京山手（解散）	11	—	—	—	—	11	—	—
東京西	15	12	12	12	12	15	15	80.0
東京武蔵野多摩	11	11	10	9	9	20	15	60.0
*松本	11	10	10	11	11	15	12	91.7
東京サンライズ	15	19	18	17	17	17	21	81.0
甲府21	32	38	48	53	53	40	50	106.0
東京八王子	15	13	13	12	13	20	20	65.0
東京たんぽぽ	7	9	9	7	7	10	10	70.0
*富士五湖	11	11	11	11	12	15	13	92.3
*長野	8	10	10	8	8	15	15	53.3
甲府やまなみ	—	—	—	—	11	—	—	—
クラブ数：11	171	166	171	170	182	214	207	87.9

湘南・沖縄部

横浜	12	12	12	12	12	18	18	66.7
*沖縄那覇（解散）	1	1	—	—	—	1	1	—
鎌倉	8	8	9	11	11	10	11	100.0
横浜とつか	13	12	12	11	11	20	20	55.0
厚木	16	15	12	10	7	20	20	35.0
金沢八景	13	12	11	11	12	15	15	80.0
横浜つづき	17	17	16	16	16	20	20	80.0
*沖縄（解散）	14	15	—	—	—	20	20	—
横浜つるみ	9	9	10	12	12	15	15	80.0
クラブ数：7	103	101	82	83	81	139	140	57.9

富士山部

*熱海	43	45	43	41	42	60	60	70.0
*沼津	13	15	15	15	15	25	15	100.0
*伊東	24	18	18	11	11	35	30	36.7
*三島	12	11	8	8	8	20	15	53.3
*下田	7	7	6	6	6	10	10	60.0
*熱海グローリー	17	13	15	13	12	20	18	66.7
御殿場	21	21	14	12	13	30	25	52.0
富士	16	15	13	12	12	20	20	60.0
富士宮	20	20	19	16	17	20	20	85.0
クラブ数：9	173	165	151	134	136	240	213	63.8

東日本区合計	2019 7.1	2020 7.1	2021 7.1	2022 1.1	2022 12.1	2019.9 クラブ 設定目標	2020.12 クラブ 修正目標	達成率 %
総クラブ数	61	60	59	58	59	80	81	72.8
総会員数	849	830	800	770	786	1,129	1,063	73.9
Change! 2022 目標会員数						1,246		63.1